

◎ 第125回定例研究会

11月16日(木)

於：静岡県評会議室

## 静岡市呉服町商店街の10年前と今 街並みから見えてくる振興施策の課題 報告：瀬川るみ氏(静岡県商連事務局長)

### ●テーマについて

2007年に静岡市で開催された中小商工業全国交流・研究集会から10年が経過しました。当時「呉服町名店街とまちなみ散策」というテーマで移動分科会が行われました。呉服町通りの商店街は「現在わが国で最も元気のある商店街」ということで全国の参加者から非常に注目を集めました。今回は散策しながら10年経過した呉服町商店街の現在の様子をまとめていきたいと思えます。

### ●ブライダルリングストリート！？

呉服町通り商店街には昔から宝飾店が多く、なかなか入るに勇気がある雰囲気でしたが、最近ではだいたい敷居が低くなったと感じます。しかし驚いたのがブライダルリング店の多さ、JR静岡駅から呉服町通りを約800メートル歩いただけで計16店舗あり、やたらとブライダルリングが目に入ってきます。インターネットで検索してみたら、「静岡呉服町通り商店街はブライダルリングストリート」と書かれ、横浜、鹿児島に並ぶブライダル激戦区であると紹介されていました。ブライダルリング専門店はほとんどが全国展開している企業で、今後、若者のブライダルリングに対する考え方の変化や経済状況によって、需要拡大が見込めないと判断すれば、一気に撤退していく可能性が強く、静岡市のメインストリートに何店舗もあるこのブライダルリング専門店が一気になくなったとしたら、呉服町といえども一気にシャッター通り化が進んでしまうのではと思えました。

### ●商店街の活性化のためには・・・

呉服町名店会は、2003年に「ランドオーナー会議」を全国に先駆け立ち上げました。2011年当時で90人の店舗所有者が参加し、勉強会や視察を行い、テナントの入居選定についての相談や、チェー

ン店との出店交渉を行っていますが、参加率は全体の50%にとどまり、全体の街づくりを考える上で対応に苦慮しています。ランドオーナー会議を常に発展させ運動を維持していくには、それにしっかり並行する行政の強力なサポートがなければ、テナント入居者(企業)を厳しく選定していくことは不可能なのではないかと感じました。

### ●一店逸品運動はいま・・・

2007年の移動分科会で、猫の雑貨を専門的に扱う個性ある店として注目を浴びた北川万年堂は現在も元気に営業しています。呉服町名店会の逸品カタログを見て、店主の望月さんに話を聞くと、「うちを含め、現在も続けているところは続けていますが、商店街も飲食店が増え、自社製品を扱うところが減り、これまでのように一店逸品と言えなくなった店が増えてしまった」と話してくれました。

### ●助言者まとめと照らし合わせ

2007年移動分科会で助言者を務めてくださった、当時静岡大学副学長の山本先生は「今後もこの街並みは大丈夫かと言うと、そう安閑としていることはできないだろう」と述べています。その理由として、収益性確保難に立地の良さをいかした店舗貸し、解決を見いだせない後継者問題、職住分離による街並み保存意識の低下などがより進む可能性を指摘しています。呉服町通り商店街で今も頑張っている人々が、今後のまちづくりをどう考え取り組みを進めているのか、行政は再開発で高層ビルを建てる以外に、この歴史ある商店街や文化を守る具体的展望を持っているのか、今後も注目していく必要があります。呉服町にはかつてのような商売人が輝く商店街として盛り返す力がまだまだ残っていると思います。そのためには振興条例等をもっと生かしていく運動が大変重要なのだと思います。

\*連絡先：静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>